



我が国の人口は横ばいで推移

～ 総務省統計局「平成22年 国勢調査 人口速報集計結果」より ～

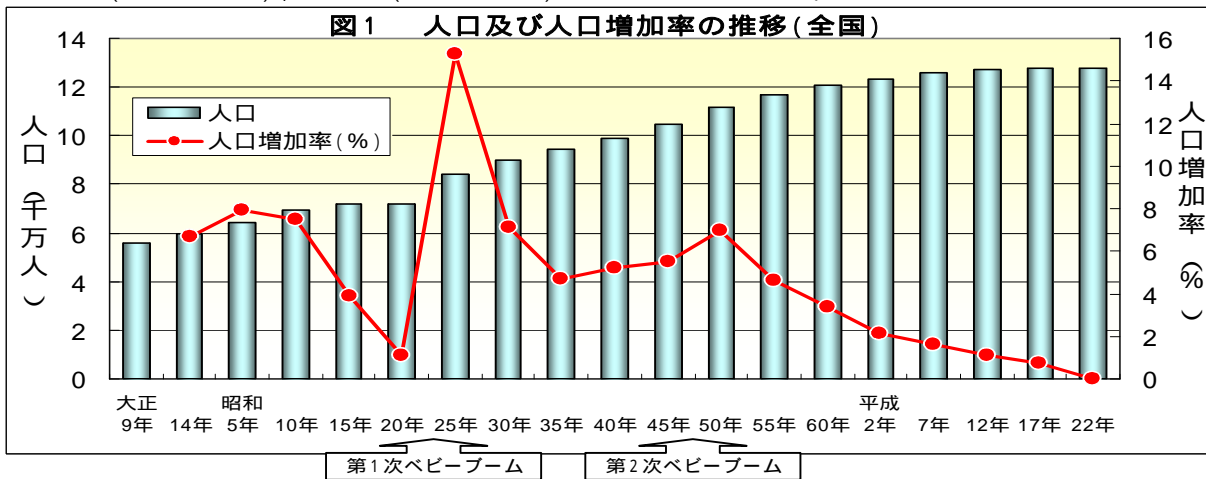
平成22年の国勢調査へのご記入、ご回答頂きありがとうございました。
平成22年10月1日を調査期日として実施された国勢調査の結果速報がまとまりました。

我が国の人口は1億2805万6千人、世界で10番目

平成22年国勢調査による10月1日現在の我が国の人口は1億2805万6千人となりました。

5年ごとの人口増減率の推移をみると、昭和20年～25年はいわゆる第1次ベビーブームにより15.3%と高い増加率となりましたが、その後は出生率の低下に伴って増加幅が縮小し、30年～35年には4.7%となりました。その後、第2次ベビーブームにより、昭和45年～50年には7.0%と増加幅が拡大したものの、50年～55年には4.6%と再び縮小に転じ、平成17年～22年には横ばい(年平均0.05%増、平成17年から0.2%増)と調査開始以来最低の人口増加率となっています。【図1】

人口を都道府県別にみると、東京都が1316万2千人と最も多く、次いで神奈川県(905万人)、大阪府(886万3千人)の順になっています。逆に最も少ないのが鳥取県で58万8千人、次いで島根県(71万6千人)、高知県(76万5千人)の順になっています。



資料: 国勢調査(昭和20年は人口調査)結果による。

沖縄県の人口は1,392,503人で2.3%の増加、全国で30番目

一方、沖縄県の人口は139万3千人で、平成17年国勢調査(以下「前回調査」という)に比べて3万1千人、2.3%増加しました。昭和25年以降、人口は一貫して増加基調にあります。人口増加率は前回調査の3.3%を1.0ポイント下回り、人口の伸びは昭和55年以降鈍化してきています。【図2】

市町村別でみると、那覇市が31万6千人と最も多く、次いで沖縄市(13万人)、うるま市(11万7千人)の順になっています。逆に最も少ないのが渡名喜村で452人、次いで北大東村(665人)、渡嘉敷村(760人)の順になっています。

